

お金の知恵と生活

金融広報中央委員会（事務局・日本銀行情報サービス局）が発刊した「大人のためのお金と生活の知恵」（ホームページ「知るぽると」でもご覧になれます）の中から、生活に役立つお金の知恵をご紹介します。

前回は、貯蓄・運用の知恵として複利の力をご紹介しました。今回は、複利の力を簡単に知ることができるよう法をご紹介します。

「72の法則」という言葉を耳にされたことはありますか？

72を金利で割ると、

元のお金が2倍になるおおよその年数がわかります。このわかりやすい計算式が「72の法則」と言われています。例えば、金利2%でお金を複利で運用した場合、 $72 \div 2 \parallel 36$ なので、36年で元金が2倍になることがわかります。同様に、3%、4%の場合、24年、18年です。

72 ÷ 金利 ≒ お金が2倍になる年数

この式を変形して「72・年数」としてみると、元のお金が2倍になるおおよその金利がわかります。20年でお金を2倍にするには、 $72 \div 20 \parallel 3.6$ なので、年利3.6%で複利運用する必要があるということになります。

「72の法則」が一番力を発揮するのは、お金を借りる時です。例えば、消費者金融（金利18%が多い）から18%でお金を借りると、 $72 \div 18 \parallel 4$ 。ちゃんと返済できないと、返すべきお金がわずか4年で2倍になります。

このように金利負担の大きさがよく見えてきます。クレジットカードの分割払いやリボリング払いを利用する際にも、使用カードの金利をよく確認しましょう。

便利な計算式なので、中学校社会科の教科書の一部にも登場しています。